

令和7年度 災害支援ネットワーク構築について

●目的

自然災害が発生した際、被災地に対して迅速に支援物資を送るため。

●方法

- ① マップの作成に必要な青年組織会員事業者のデータを収集する。
(各地ト協事務局担当者)
- ② 各地ト協事務局担当者は、青年組織会員事業者のデータを所定のリスト(Excel)にコピーし、全ト協事務局担当者に送信する。
- ③ 収集する青年組織会員事業者のデータは、以下のとおり。
 - ・会社名
 - ・会社所在地
 - ・電話番号
 - ・FAX番号
 - ・氏名
 - ・メールアドレス
- ④ 青年組織会員事業者のデータをプロットして全国版のマップを作成する。
(全ト協事務局担当者)

●取扱い

- ① 作成には青年組織会員事業者の承認を必要とする。
- ② 掲載したくない青年組織会員事業者のデータは載せない。
- ③ データの承認、管理、更新は各地ト協事務局担当者が行う。
- ④ 現時点での閲覧権限は、全ト協青年部会正副部長に限る。

青年部会「令和 7 年度重点取組」 災害支援ネットワーク構築について

構築イメージ

静岡ト協青年部会をモデルに災害支援ネットワークを構築する。

■方法

- ・ Googleマイマップを活用する。
- ・ 青年部会員全体データを地図上にマッピングする。

■内容

- ・ 各地ト協ごとの青年組織会員事業者の位置（右図青ピン）
（会社名、住所、氏名、連絡先など）
- ・ 行政管轄の災害備蓄倉庫等の位置（右図赤ピン）



構築順序

■第1段階（基本マップの構築）

- ・ブロック内の主要企業（現・都道府県代表の会社）をプロットして基本マップを作成した。

【参考】災害支援ネットワーク基本マップ

<https://www.google.com/maps/d/edit?mid=1xRzGZOzfxErmPgKtJrF2KkT3Sk6L4xc&usp=sharing>

■第2段階（全体マップの構築）

- ・各地ト協単位で情報を収集し、全体マップを完成させる。

災害発生時の運用方法

■運用方法

- ・臨時の緊急正副部会長会議を開催する。
- ・災害支援を行う場合、災害支援ネットワークを運用し、下記①②を行う。

- ① 発災エリア近辺で緊急支援物資の購入及び輸送が可能な会員事業者をピックアップし
緊急支援物資の購入及び輸送を依頼する。
- ② 発災エリア近辺で緊急支援物資の受け入れが可能な会員事業者をピックアップし
緊急支援物資の受け入れを依頼する。

※災害支援にかかる費用は、災害支援金として集めたお金を使用する。

【都道府県別】令和7年度災害支援ネットワークリスト

【都道府県】

[illegible]